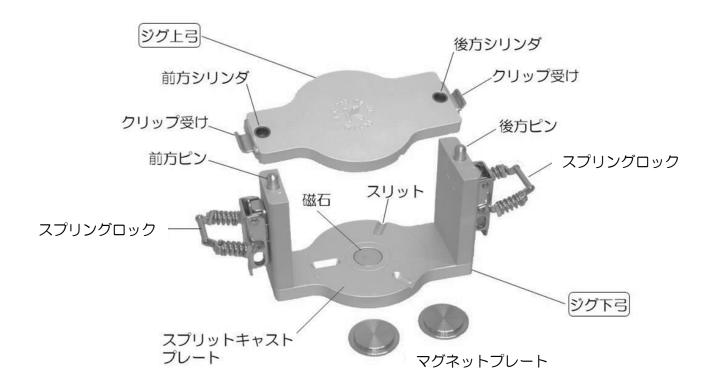
# 【T-Cパッキング・ジグ(T-C packing Jig)】



# 【T-Cパッキング・ジグの特徴】

- 粘膜調整されていく義歯床内面と人工歯咬合面の三次元的な位置関係を経時的に連続 してチェックできる
- 2 治療用義歯床内面にT-Cを正確にパッキングできる。毎回T-Cの厚みを均一にでき、 T-Cの稠度や量の誤差による口腔内での義歯のずれが無い
- 互換性があり、マグネットプレートの使用により、患者の数だけジグを準備する必要 が無い、通常、上下総義歯患者一人に2台あればよい、診療室に2台、技工所に2台 あればスムーズに治療が進む
- 間接リラインに応用できる (4)
- 即時重合レジンを使用する場合でも、圧力鍋にジグごと入れて脱泡が可能 (5)
- コンパクトで、軽量、堅固 (6)

大きさ:W135×D65×H70mm マグネットプレート直径26mm

パッチン錠:SUS-304 18-8ステンレス

160Nのスプリングロック

重 量:412g

表面加工:アルマイト処理

《特徴》硬くて傷がつきにくい. 腐食しにくい

材 質:硬質アルミニウム

A2017 (ジュラルミン) 磁 石:ネオジム磁石

# 【T-Cパッキング・ジグの製作方法】

# 技工操作

完成した治療用義歯(Treatment Denture), あるいは辺縁封鎖後などでフリーハンドでT-Cを填入した治療用義歯内面に、硬石膏を注入してジグ模型を製作します。

#### (1) ジグ模型製作

# (注)使用前に、パッキングジグのスプリット部分や上弓と下弓の間に石膏やT-C片がついていないことを確認する



上下総義歯



真空撹拌した硬石膏をバイブレーターを使用しながら義歯床内面に 盛り上げ,残りを練板に盛り上げる



義歯を乗せ、石膏が義歯の辺縁から1~2mmほど覆う程度に調整する



石膏硬化後、人工歯を削らないよう十分注意しながら余剰石膏をトリミングし、作業用模型を完成させる。模型の基底面には維持を付けておく



ジグ上弓と下弓の磁石部の 丸ラインに合わせてマグネット プレートを付ける ※マグネットは、平らな面が マグネット側で段差がついて いる方が石膏側



ジグ下弓のスプリットキャスト面に硬化促進剤を入れて練和した 普通石膏を高さ13~14 mm盛り上 げ,濡らしたスパチュラで平らに する

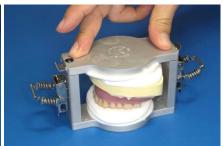


普通石膏が硬化する前に,基底面に維持を付けた作業用硬石膏模型を,ジグ下弓の前方(支柱の細い方)を前歯側とし,正中を合わせて設置する.

咬合面コアの深さは、人工歯の 切端・咬合面側1/3より浅めとする



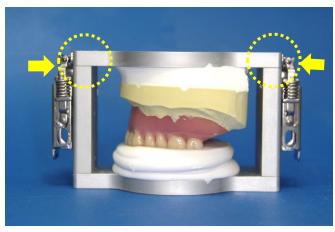
作業用模型基底面とジグ上弓 のスプリットキャスト面に 普通石膏泥を盛る



ジグの上弓と下弓の前後方向 を間違わないよう, 支柱の太 さを合わせて上弓を下弓の支柱 にはめる.

(注)上弓と下弓の両接触面に、石膏泥 が入り込まないよう注意する

# 【T-Cパッキング・ジグの製作方法】



前後のスプリングロックをかけ、浮き上がりが無いことを確認する。 余剰の石膏泥を濡らした指で除去し形を整える





硬化後ジグから外し、ジグ模型と咬合面コアの辺縁を円のラインに 沿って<mark>人工歯を削らないよう十分注意しながら</mark>トリーマーで形態 修正する



パッキング・ジグ装着完了



上下顎総義歯とパッキングジグ模型

# 【T-Cパッキング・ジグへのT-C填入方法】 診療室操作





《ジグ模型と義歯の方向》

- ・ジグの前方(細い方)が前歯側
- 上弓にジグ模型 下弓に咬合面コアを 装着

ジグ模型と治療用総義歯

(注)使用前に,パッキングジグのスプリット部分や上弓と下弓の間に石膏や T-C片がついていないことを確認すること

治療用義歯(総義歯)へのティッシュコンディショナー(以下T-C)の填入方法

◎使用する義歯床用粘膜調整剤・機能印象材料例

松風㈱ ティッシュコンディショナーII (ホワイト)

亀水化学工業㈱ デンチャーソフト II など

◎カワラダデンチャーシステムでのリンガライズドオクルージョンの総義歯の場合➡粉液比1:1



《準備物》

ベースン、ウォーマー、温度計、 タイマー, 各社T-C, 分離材, スパチュラ、筆、T-Cパッキング ジグ, 総義歯



ジグ模型, 咬合面コアを使用の 10分ほど前から約40℃の温水 に浸漬しておく※①



適正な紛液比で混和・重合し、 柔らかめの餅状になるまで待つ

注)室温によって硬化時間が変わ るので気温により調整する.



粘膜面模型をエアガンで乾燥 させ, 前回のアルジネートバ ニッシュを剥離させる. 新たに粘膜面模型に分離材と してアルジネートバニッシュ を筆で一層塗布する



柔らかめの餅状になったT-C をスパチュラで義歯内面に 填入する



T-Cを填入した義歯とジグ模型 を温水にくぐらせ、圧接する

注)T-Cが柔らかすぎると流れてしまいうまくパッキングできないので 注意する

※①T-Cパッキングを2回目以降に行う場合には、粘膜面のジグ模型と咬合面コアを、使用する 10分ほど前から約40℃の温水に浸漬しておく.

石膏模型の気泡が抜け、前回塗布したアルジネートバニッシュが剝がれやすくなる。 咬合面コアは給水することにより割れにくくなる.

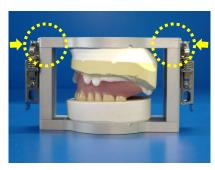
(注)50℃以上になると,石膏模型が分離する ので、高温にならないよう気を付ける



下弓の咬合面コアに義歯の人工歯咬合面を適合させながら、上弓をはめる



前後(左右)のスプリング ロックをかける



ジグの上弓・下弓間に浮き上が りが無いことを確認し、浮き上 がっていれば上から体重をかけ て沈める





約40°C の温水中にパッキングジグごと約3分浸漬し、T-Cの重合(餅状化)をスムーズに進める。電気ウォーマーを使用すると良い ※①



床辺縁からはみ出たT-Cを指で大まかに取り、患者の口腔内へ入れる。10分ほど口腔諸運動をしながら待ってもらう



義歯辺縁の余剰なT-Cを, 熱したスパチュラーでトリ ミングし,ホワイトポイント (HP)で研磨し治療終了



次回までこの義歯をお使いいただく

#### (注)義歯床辺縁はT-Cで一層覆われているようにする

※粘膜調整治療後に、毎回義歯内面のT-Cをスクラッパー(別売) で全面剥し、新しくT-Cをパッキングし動的機能印象を進めていく





# 【T-Cパッキングジグの清掃方法】

- ・洗浄は、ブラシやスポンジなどを用いて中性洗剤と水道水で洗浄し、乾燥させて保管する.
- ・消毒は、アルコール系消毒剤が使用可能.
- ・滅菌は、ガス滅菌可能(エチレンオキサイドガス、ホルマリンガス). オートクレーブ滅菌不可.